

令和7年8月6日

連続テレビ小説「エール」放送から5年、戦後80年 ～福島市古関裕而記念音楽祭2025開催～

本市出身の昭和を代表する作曲家・古関裕而氏の功績を永く後世に伝え、古関メロディーを継承していくため、同氏の生誕日に記念音楽祭を開催します。

事前告知と当日取材のほど、よろしくお願いいたします。

1 事業概要

- (1) 開催日時 令和7年8月11日（月・祝）午後3時より5時まで（予定）
(2) 会場 ふくしん夢の音楽堂 大ホール
(3) ゲスト 柿澤勇人（かきざわはやと）（俳優）
*連続テレビ小説「エール」 山藤太郎 役
山田姉妹／山田華（やまだはな）、山田麗（やまだれい）（ソプラノデュオ）
*山田麗は、川野三津代 役
ほか（詳しくは右記QRコードをご覧ください）
(4) プログラム 「長崎の鐘」「福島行進曲」「とんがり帽子」ほか（予定）
(5) 入場料 1,000円（全席指定） ※未就学児入場不可
(6) チケット 音楽堂窓口の他、各種プレイガイド等で発売中



▲詳しくは市HPを
参照ください

2 取材について

取材のお申し出は、午後2時15分から2時50分までの間に、ふくしん夢の音楽堂1階ホワイエ内受付までお願いします。上記時間帯にお越しいただくことが難しい場合は、8月8日（金）午後5時15分までに必ず福島市文化振興課にお申し出ください。

取材場所	動画	静止画
客席2階バルコニー	可	可（フラッシュ不可）

3 留意事項

- ・当日公演中の取材時間や内容に、一部制限がありますので、取材受付の際に必ず確認をお願いいたします。
- ・公演終了後、ゲストへの取材希望の場合は取材受付の際にお知らせください。（時間の都合によりお断りする場合があります）
- ・報道関係者と分かる腕章を付けていただいた方のみ撮影いただけます。
- ・取材用の動画音声ラインの提供は出来ませんので、各社で対応をお願いします。
- ・演奏中の場所移動はご遠慮願います。（トークや演奏合間をお願いします）
- ・当日の取材時間は運営の状況により前後する場合があります。



担当：市民・文化スポーツ部 文化振興課 文化振興係
課長 今野 課長補佐 菊田
電話 024-525-3785（直通）

第34回福島市

連続テレビ小説
「エール」放送から55年
戦後80年

永遠に響け、古関メロディー
明日へつなぐエール



古関裕而 記念音楽祭 2025

ゲスト



ソプラノデュオ
山田姉妹



俳優
柿澤 勇人
Hayato Kakizawa

- ◆BREEZE
- ◆福島大学附属小学校合唱部
- ◆音楽祭スペシャルアンサンブル”七羽ガラス” ほか

プログラム

- ◆珠玉の古関メロディーや
ドラマにまつわるトーク
- ◆歌唱・演奏曲目(予定)
「高原列車は行く」「長崎の鐘」
「福島行進曲」「とんがり帽子」 ほか

2025 8/11 祝日
ふくしん夢の音楽堂大ホール
開場 14:15 開演 15:00

チケット

2025年6月23日発売
全席指定 1,000円(税込) ※未就学児入場不可

プレイガイド

- ◆ローソンチケット
(ローソン店頭 Loppi[Lコード27006])
- ◆ふくしん夢の音楽堂(窓口・オンライン)



チケット購入はこちら

主催：福島市古関裕而記念音楽祭実行委員会・福島市 共催：公益財団法人 福島市振興公社

公演について
のお問合わせ

福島市文化振興課
TEL.024-525-3785
〒960-8601 福島県福島市五老内町3-1

チケットについて
のお問合わせ

ふくしん夢の音楽堂
TEL.024-531-6221
〒960-8117 福島県福島市入江町1-1



WEB サイト

※駐車台数に限りがありますので、バス・タクシー等の公共交通機関のご利用をお願いいたします。※演奏途中からの入場はできない場合がございます。開演時間に遅れないようお越しください。

古関裕而記念音楽祭とは…

本市名誉市民の古関裕而氏の偉業を記念し、その功績とメロディーを永く後世に伝えるために、平成3年度より毎年開催しています。

2025年は連続テレビ小説「エール」の放送から5年、戦後80年という節目の年です。今年の音楽祭は、ゲストに「エール」に出演された柿澤勇人さん、山田麗さん、ソプラノデュオ山田姉妹の山田華さんを迎え、「エール」で描いた戦時とその場面を振り返りつつ、戦争と平和、そして多くの人々を応援し続けた古関裕而氏の人間愛を考える機会とするとともに、珠玉の古関メロディーや、ドラマにまつわるトークをお楽しみいただきます。ぜひ会場にお越しください。



こ せ き ゆ う じ
古関 裕而

古関裕而（本名、古関勇治）は、明治42（1909）年福島市大町に生まれ、昭和5（1930）年9月に日本コロムビア㈱に作曲家として入社。

作曲作品総数は、5,000曲にもおよび、スポーツ・ラジオドラマ・歌謡曲・演劇・校歌・社歌等、多岐にわたり、不滅のメロディとして人々に愛されています。こうした一連の功績によって昭和44（1969）年には紫綬褒章を受章。また、全国高等学校野球選手権大会歌「栄冠は君に輝く」をはじめ、大学、プロ野球などの応援で歌われる曲も数多く作曲し、音楽を通して日本の野球を盛り上げてきた功績により令和5（2023）年野球殿堂入りしました。

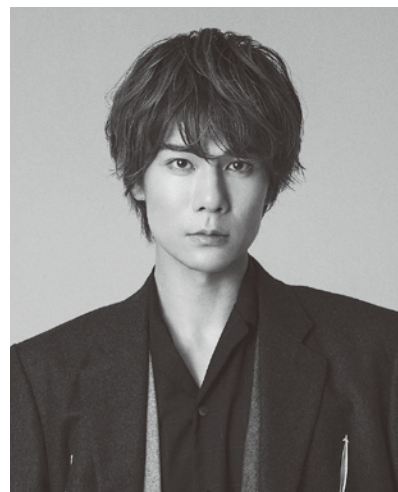
ゲスト

1987年生まれ、神奈川県出身。高校一年生の時に課外授業で観た劇団四季「ライオンキング」に衝撃を受け、俳優の道を志す。2007年、「ジーザス・クライスト=スーパースター」で初舞台。劇団四季を退団後は舞台・映像と幅広い分野で活躍中。主な出演作品に舞台：『海辺のカフカ』（演出：蜷川幸雄）、『愛と哀しみのシャーロック・ホームズ』『オデッサ』（演出：三谷幸喜）、ミュージカル『メリー・ポピンズ』『ジキル&ハイド』『スクールオブロック』『ボニー&クライド』、ドラマ：『連続テレビ小説 エール』、『大河ドラマ 鎌倉殿の13人』、NTV『真犯人フラグ』、TBS『不適切にもほどがある!』CX『全領域異常解決室』、TBS『ライオンの隠れ家』などがある。第31回読売演劇大賞 優秀男優賞、第49回菊田一夫演劇賞受賞。趣味はサウナと芋焼酎。

「丘を越えて」などでヒットを放った歌手。南方の慰問先で、イギリス軍の捕虜になった経験を持つ。戦争を身をもって体験した人に歌ってほしいという主人公・古山裕一の思いを受けて、「長崎の鐘」を歌う。

★連続テレビ小説「エール」 山藤太郎 役

かきざわ はや と
柿澤 勇人（俳優）



やまだ しまい やまだ はな やまだ れい
山田姉妹／山田 華、山田 麗（ソプラノデュオ）



二卵性の双子ソプラノデュオ。二期会オペラ研修所マスタークラス修了後、2017年2月メジャーデビュー。5枚目となるアルバム『ふたりで紡ぐ、やすらぎのハーモニー～若葉のころ～』をキングレコードより発売中。全国各地での演奏活動のほか、NHK「うたコン」などの歌番組にも多数出演。双子ソプラノデュオならではの美しいハーモニーで、オペラアリアをはじめ、童謡・唱歌や歌謡曲の名曲の数々を歌い届けている。2018年10月より逗子市広報大使に就任。

妹の麗は、女優として「エール」に、川野三津代役で出演し、「福島行進曲」を披露した。

古山裕一の盟友・村野鉄男が久しぶりに書いた詞に、裕一が一晩で曲を書き上げる。新民謡の流行に乗って発売された裕一のデビュー作であり、鉄男との初タッグ作のレコード「福島行進曲」に歌声を吹き込んだ。

★山田麗は、連続テレビ小説「エール」 川野三津代 役



ブリーズ
BREEZE 小菅けいこ（ソプラノ）、中村マナブ（テノール）、磯貝たかあき（バリトン）

★連続テレビ小説「エール」 歌唱指導

ジャズボーカルグループ。1993年結成。グループ名の「BREEZE」はイラストレーターのと田誠氏にいただいたもの。レパートリーはジャズのスタンダードナンバーを中心に、ポップス、ミュージカル、日本の楽曲まで幅広い。コンサートや国内各地のジャズフェスティバルへの出演、ジャズクラブでの活動の他、学校コンサートやワークショップも開催しジャズコーラスの普及にも取り組んでいる。2023年11月には結成30周年記念コンサートをサントリーホール・ブルーローズで開催、高い評価を受ける。日本コロムビアから『晩秋の頃（エール劇中歌）』『BREEZE～古関裕而をうたう』をリリース。